



水田フル活用で高収益化を可能にする取組 (フォアス(FOEAS)の導入)

- ポイント**
- 宮崎県では、米政策見直し後の水田農業の持続的発展を図るため、露地野菜などの高収益野菜を組み合わせた輪作体系「ベストミックス」を推奨
 - 水田の輪作体系をより可能にするフォアス（FOEAS：新地下水位制御システム）を導入
 - 作物に最適な地下水位の維持により、高品質化と収量増加が可能

取組概要

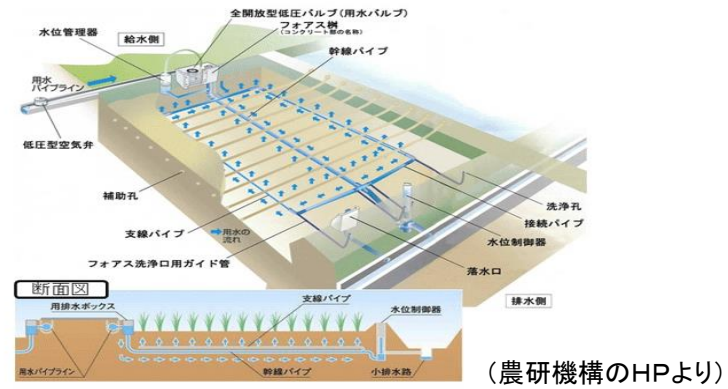
- フォアス導入面積：4ha
- 作付体系：水稲(表作) + にんじん等の野菜(裏作)

取組背景

- 水田での更なる所得向上を図るため
 - ・水稲の裏作に畑作物を作付し、販売額を拡大
 - ・湿害等及び干ばつ対策から、フォアスを導入

効果

- 湿害と干ばつが軽減され、野菜の安定生産と収量向上。また、導入可能作物（高収益作物）の選択拡大
- 裏作で野菜栽培が可能となったことにより、水稲単作より10畝当たりの収入が大幅に増加
- フォアスをより効果的に活用するため、補助的手段として弾丸暗渠（穿孔穴排水）の併用が有効



フォアス施工前		フォアス施工後	
表作	裏作	表作	裏作
水稲 10畝	湿田により作付不可	水稲 10畝	高収益野菜
販売額13万円	販売額0円	販売額13万円	販売額80万円
合計13万円		合計93万円	

	暗渠排水	フォアス
施工価格 (10畝-当り)	約15万円	約25万円

(収入額は農林水産省農業経営統計調査公表資料より算出)

(施工業者Aより聞き取り)